

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1030
施設名	赤坂ちとせ保育園
施設所在地	東京都港区赤坂4-7-15
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然（芋ほり）

<テーマの設定理由>

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）

子ども達が土や植物などの自然に直接触れながら、季節の変化や秋の実りを感じられる活動として芋ほりを設定した。実際に「掘る・見つける・収穫する」体験を通して、発見する楽しさや達成感を味わい、食への興味や関心につなげることを目的とした。普段から野菜の栽培や食育を頻繁に行っていることもあり、芋ほりを通し自然に触れることで、友達や保育者と一緒に取り組む中で喜びを共有しながら主体的に取り組む姿を育みたいと考え設定した。

2. 活動スケジュール

- ・【10月】 芋ほり（4歳児・5歳児）
- ・【11月】 きのこと栽培（4歳児・5歳児）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

軍手・ブルーシート・i p o d・虫よけ・段ボール

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・芋ほりでは、土の感触や匂いを感じながら、自分で掘り進める経験を大切に、「ここにありそう」「まだ繋がっている」など発見を楽しむ姿につながった。
- ・収穫後は、形や大きさの違いを見比べたり、重さ比べや数を数えながら、友達同士で気づきを共有できるようにした。
- ・活動後には、絵を描き、言葉での振り返りを行い、次の興味・関心につながるよう援助した。
- ・栽培への関心興味が増え、子ども達からの要望で、きのか栽培を始める。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・子ども達は土に触れながら、自分の場所を探して掘り進め、収穫を楽しんだ。
- ・土の硬さや感触を楽しみながら、友達と協力して掘ろうとする様子があった。
- ・収穫した芋を見比べ、「大きいね」「長いね」など自分で気づいたことを言葉で伝える姿が見られた。
- ・子どもの気づきや発見に共感し、「本当だね」「どうしてかな?」と一緒に考える関わりを意識して行った。
- ・活動後には、感じたことや発見したことを言葉で表現できる振り返りの時間を設けた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・芋の大きさや形の違いに興味を持ったり、疑問を感じる姿が見られ、実体験が探究心につながることを実感した。
- ・収穫までの過程を経験することで、食への関心や感謝の気持ちが育まれていることを感じた。
- ・自然の中で体を大きく動かしながら活動することで、達成感や自信につながる姿が見られたため、今後も五感を使った体験活動を大切にしていきたい。